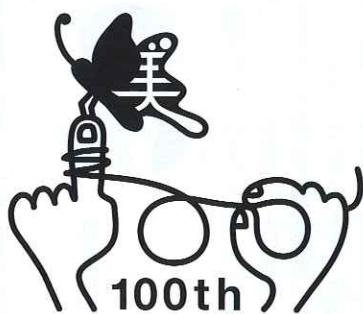


百年の足跡、無限の未来へ

おおぞら
～大宙へ…双蝶～



松本美須々ヶ丘高等学校 2009 (H21) 創立100周年

日頃は同窓会運営に深いご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。
ここに同窓会報第4号が発刊される運びとなりました。わが母校松本美須々ヶ丘高等学校はいよいよ来年「百年の足跡、無限の未来へ」大宙へ「双蝶」のキャッチフレーズを掲げ創立百周年を迎えます。この会報が同窓生の絆を結び、記念事業の成功につながりますことを心より願っております。

橋詰校長先生をはじめ諸先生方、また同窓会員・PTA及び多くの皆様方には物心両面のご協力を頂き感謝と御礼を申し上げます。

同窓会と致しましても百周年の歴史と伝統に相応しい記念事業の成功に導かなければと考えています。引き続き更なるご協力をお願いいたします。

平成17年度からの同窓会費も皆さんのご理解とご協力により多くの会員の皆さんにご納入頂き、定期的な会報の発行やホームページの開設、美須々セミナーの開催など自立した運営の充実を図っています。本年度の年会費納入につきましては、別紙「創立百周年記念事業募金並びに同窓会年会費について」によりお願いすることに致しましたのでご理解の上、一人でも多くの会員の皆様方のご協力を切にお願いいたします。

さて去る6月29日に開催されました、平成20年度松本美須々ヶ丘高校同窓会定期総会並びに創立百周年記念事業実行委員会役員総会におきまして、待つこと久しい同窓生と在校生、そして地域との絆を育む「美須々教育会館（仮称）」が記念事業の一環として建設の運びとなりました。この教育会館が伝統に更なる輝きを重ね頑張っている後輩である在校生の心豊かな教育の一環として活用され、また同窓生の皆さんが世代を越え絆を育む心の拠り所として活用いただ



成功させよう！ 創立百周年記念事業を

同窓会長 福島昭子 (S26卒)



第4号

2008. 9. 10

発行
長野県松本美須々ヶ丘高等学校同窓会
〒390-8602
長野県松本市美須々2-1
印刷
SALAT (株) サラト
SALAT Corporation

私たちの同窓生

会員数 31,017 人
在校生 845 人
(男 388、女 457)
平成20年4月現在

前身学校

長野県市立松本女子職業学校
長野県松本高等家政女学校
長野県松本市立高等女学校
長野県松本市立中学校
長野県松本市立女子商業学校
長野県松本市立高等学校



ご挨拶

同窓会の皆様には、本校教育の充実発展のために日頃より格別なご支援を頂き誠にありがとうございます。

お陰様で、生徒諸君は文武両道を着実に実践し、卒業生の進路についても希望にそった進学実績が上がっているものと思います。落ち着いた学校との地域から声も頂いております。

部活動ではサッカー長野県選手権大会で決勝戦まで勝ち進み、県立高校として唯一ここまで勝ち上がったことに多くの皆さんから賞賛の言葉を頂きました。他にも野球、ハンドボール、バスケットなどの運動部、また吹奏楽部、放送部の活躍など、何れも同窓会や保護者の皆様方からのご支援があつてのことであり、心よりお礼申し上げます。

さて、来年10月には創立百周年を迎えるこ

きますことを願っています。

しかしこれまでのご寄付の総額は当初の目標額を大きく下回っています。この教育会館を創立百周年記念式典までに竣工させ、目指す「百年の足跡、無限の未来へ」大宙へ「双蝶」の拠り所にするために更なるご寄付へのご協力を切にお願いいたします。

未踏なる志の扉を開けばそこには大きな感動が待っています。一度きりの人生です。同窓の巡り合いに感謝し創立百周年を成功させましょう。

終わりに次世代を担う後輩が誇れる同窓会の充実に向けて皆様と共に精一杯努めさせて頂きますのでご指導ご協力を重ねてお願い申し上げます。母校松本美須々ヶ丘高等学校の益々のご発展をご祈念申し上げます。

校長 橋詰 治明

とになります。同窓会専用の室も校内に設置を頂き、着々と記念式典に向けて準備が進んでいるものと思います。これまでの福島同窓会長様、山元実行委員長様をはじめとする関係する同窓会の皆様のご尽力に心から敬意を表します。また、同窓会員をはじめとする美須々々縁のある多くの方々の力を結集し、来たる100周年が本校並びに同窓会にとってよき記念の年になることを願いたします。

同窓会は学校教育活動の大切な後援組織です。在校生の精神的支柱の一つであり、そこから無言の感化を受けるものです。一層同窓会としての活動を活発にして頂きたいと思ひます。

終わりに、松本美須々ヶ丘高等学校同窓会の益々のご発展を祈念して、ご挨拶いたします。

百周年式典を一年後にひかえ



創立百周年記念事業実行委員会

委員長 山 元 秀 泰 (S47卒)

同窓会の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のことと推察申し上げます。百周年記念事業実行委員会も結束以来、この10年で3年になろうとしています。この間、同窓会諸兄はじめそれぞれのお立場からご指導ご協力をいただきました。この紙面をお借りし改めて感謝申し上げます。

実行委員会も各委員会を中心に精力的に活動をし、来年に向け一歩ずつ準備を進めております。募金も昨年の12月に同窓会の皆さんに事業計画と振込み用紙を送付させていただきました。同窓会諸兄はじめPTA・先生方または一般篤志者や企業からも貴重なご寄付をいただいております。

6月の同窓会総会並びに実行委員会役員総会において、途中経過をご説明させていただきましたが、卒業生の状況は、件数で約700件(36%)、金額で800万円弱となります。多くの皆さんのご協力に感謝しつつ、目標金額を達成すべく実行委員会全員で知恵を絞り、奉加帳での手集めも始まりました。私は、集金額は大事だと思いますが、百周年という大きな節目に一人でも多くの皆さんに關つていただくことが、我らの母校にとって一番大切な事だと思えます。31,000人の卒業生諸兄の内、この会報をお届けできる方は約19,000人です。募金は来年の記念事業が終了する時点までと考えておりますが、県並びに税務署との協議で、一応本年11月までとなっています。是非ご理解をいただきご協力をいただきます

すようお願い申し上げます。

さて、記念事業も進捗度を増していきたくところですが、前記いたしましたように募金との整合性も考えていかねばならない時期でもあり、総会において記念事業は当初計画を指すものの、その優先順位を考慮しなくてはならない旨の説明と報告をさせていただきました。その一つとして、美須々ヶ丘教育会館(仮称)の建設を最優先に取り組むことになりました。ご存知のように母校には同窓生諸兄が集う同窓会館の施設がありません。記念事業計画当初より何とか実現させたいとの多くの想いがございました。校長先生はじめ学校や県教委のご理解をいただき、実現に向け大きく舵を切ることにいたしました。建設委員会を立ち上げ推進します。同窓会館自体は、県有地に建設することができない為、仮称ですが教育会館とし、生徒さん方には自習室やクラブ活動に、地域の皆さんやPTAの皆さんの会議室に、そして同窓会はその一角を使用させていただき事務室・資料室・会議室として利用していくものです。併せて、「みずの森整備事業」として会館の周辺を整備する計画です。

いずれにせよ、寄付金が足りません。なにとぞご理解をいただきお一人でも多くのご協力をいただきますよう、切にお願い申し上げます。

また、お手伝いいただける諸兄がおいででしたら、是非事務局までお電話下さい。

財務委員会

委員長 上條信太郎 (S44卒)

平素は同窓会・百周年記念事業にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。財務委員会では昨年十二月に第一回募金をお願いいたしましたところ、多くの皆様にご協力をいただきました。この紙面をお借りして心より御礼申し上げます。

委員会では、趣意書による募金のお願いの発送に合わせ、役員会・年度代表者を開催し、「記念事業寄附芳名簿」による募金活動を実施する等、目標金額の達成に向け一丸となり努力しておりますが、未だ目標金額には遠く及びません。記念事業が無事計画通り実行されるためにも、更に多くの皆様にご協力いただけますようお願い申し上げます。同級会やクラブ会を開くなど、身近な同窓生にもお声掛けいただき、百周年記念の募金へご協力いただけますようお願いできればと考えます。

多くの人に支えられ、心温まる母校創立百周年の記念事業が、財政的にも無事実行されるよう財務委員会一同一層努力してまいります。

記念誌委員会

委員長 山本範行 (S46卒)

一、母校への愛着と誇りに思う気持ちを更に強めて頂くこと。
一、百年の間に培われてきた「美須々ヶ丘の心」を次代に伝えること。

当委員会では、この二点を主眼に、一同精力的に取り組んでおります。

はじめに、今回の記念誌の基本理念についてお伝えします。

私たちの目指す記念誌では百年間の記録そのものよりも、「その時々を生徒や教師の内面的なプロセス」を重視したいと思います。

ある事柄を生み出すに至るまでの生徒や教師の苦悩、情熱、真摯な取り組みの積み重ねこそが、母校の伝統や校風、そして「美須々ヶ丘の心」を培ってきたと考えるからです。

このように、ハード面よりソフト面に光を当てることで冒頭の目的を達成したいと意気込んでおります。

さて、現在までの当委員会の報告をさせていただきます。

これまでに八名の先生方に執筆をお引受け頂き、前述のような基本理念の下、より良い記念誌作りの為に打ち合わせ会議を重ねながら、ご助言を頂いております。いずれの先生方も当時の名物先生で、卒業生の委員だけでは掴みきれない「美須々ヶ丘の心」を表現して頂けるのでは、と期待をいたしております。

また、誌面充実のため、聞き取り座談会を順次開催させて頂いております。これまでに、松本市立中学、制服自由化の頃の卒業生、定時制の卒業生の皆様に貴重なお話を伺うことが出来ました。ご協力頂いた皆様、誠に有難うございました。今後は、市立高校はじめ多くの皆様にもご協力をお願いする予定です。また、寄稿等のお願いをさせていただきます。何卒宜しくお願いいたします。



総務委員会 委員長 伊藤篤實 (S43卒)**創立百周年記念式典**

平成21年10月10日 長野県松本文化会館

総務委員会では、百周年記念式典と祝賀会、それに係わる事柄を中心に活動しています。記念式典まで残すところ一年余りとなりました。卒業生、在校生にとって心に残る式典が出来るように、全力で取り組んで行きたいと総務委員会一同意気込んでいます。当日は、東京芸術大学を卒業後、NHK交響楽団でヴァイオリニストとして活躍中の大林修子さんはじめ、母校の吹奏楽部等による音楽公演を予定しています。ご都合のつく方は式典にご参加いただき、母校の百周年と一緒に体感してみませんか。

記念催事委員会 委員長 加科 勝 (S32卒)**「大人の文化祭2008」華やかに開催**

☆現役生とのコラボレーション☆

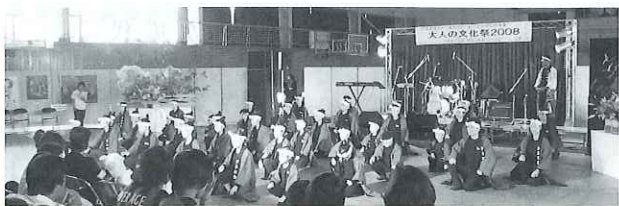
去る7月12日、双蝶祭一般公開日に合わせ昨年に引き続き創立百周年記念事業「大人の文化祭2008」が開催されました。

会場の大体育館には、ステージ両サイドにOBの華道真派青山流家元・上條香月さんの生け花が飾られ華やかな雰囲気演出し、現役書道部員の書や美術部OBの絵画などが展示され、それぞれの作者から作品紹介がされました。

またステージでは、「ソーラン節同好会」多喜雄塾の総勢45名の皆さんによるエネルギッシュな踊り「多喜雄のソーラン節」がオープニングを飾り、つづいて自性院住職鳥羽弘純さん率いる「とりのはねスペシャルバンド」によるフォークコンサート、現役「フリーミュージッククラブ」選抜メンバーの皆さんによる若さみなぎるポップス、今年結成10周年を迎え乗りに乗っている「The Busy's」の皆さんが同窓会の歌「みすずっこの歌」などをにぎやかに披露、つづいてぐっと趣を変えて「加科東勝と仲間たち」による民謡の世界、日本各地に伝わる祝い唄の数々を披露、トリは女性ゴスペルグループ「エターナルエンジェルス」の皆さんが美しいハーモニーでゴスペルの代表曲を華麗に聞かせてくれるなど多彩なプログラムが展開されました。

当日会場には、33度の猛暑の中、卒業生・在校生をはじめ出演者の知人や父母など100人余りの方が訪れ楽しいひとときを共に過ごすことができました。

記念催事委員会では、今後も心に残る百周年記念事業を計画し実現してまいりたいと考えております。多くの方のご参加と情報をお待ちしております。

**ビジョン委員会** 委員長 伊藤亮二 (S52卒)

昨年本委員会では、まず在校生やOBの皆様から統一テーマのキャッチコピーを募集し、約300件の応募の中から『百年の足跡、無限の未来へ〜大宙へ…双蝶〜』に決定させて頂きました。この意味は校名変更・統合・移転など幾多の変遷を経てきた美須々の百年の歴史をまとめ（百歳の美須々に感謝）、未来の美須々を語る百周年とし、在校生・同窓生が一体となり地域から世界へと大きく羽ばたいていこうという想いが込められています。また、今年に入り統一テーマと連動させたロゴマークを作成しました。ロゴマーク作りの経過や意味合いは編集後記（本誌8ページ）に記載してありますのでご覧下さい。

今後は、同窓会や実行委員会の意向を聞きながら本校のビジョンを検討していく予定です。現在のメンバーは50代、40代が中心ですが、幅広い意見を集約したいので是非ビジョン委員会への参画をお願い致します。出来れば20代・30代の方の委員会参加をお待ちしています。

**学校整備委員会** 委員長 橋本恵次 (S40卒)

創立百周年記念事業実行委員会学校整備委員会の委員長という重責を引受けて3年近くになります。この間委員の皆さんと百周年の記念事業として何がふさわしいか議論を交わし検討を重ねてまいりました。紆余曲折しながら予算の関係もあり、同窓会・PTA・学校職員・生徒会の皆さんの手で自ら汗を流す勤労奉仕活動に依って校内を美化整備して、百周年の事業に参加すると共に認識を高めようとの方向へ大幅な変更となりました。

今年は8月30日に中庭へのインターロッキング敷設の作業を実施致します。この事業は来年度以降も継続して実施する予定であります。今後も皆さん大勢の方のご参加を希望しております。又念願の美須々教育会館の建設に向け、学校整備委員会のメンバーが中心となって建設委員会と連携して、美須々の伝統にふさわしい会館建設を、百周年を契機に実現してまいります。輝かしい歴史と伝統が継承され、それぞれの青春ドラマの舞台として我々を育てくれた母校の百周年記念事業が成功裡に終わり、更に次の二百周年に向けての新たな発展を期してあと1年余全力を投入してまいる所存であります。

各委員長 だより



会館イメージ画（正式完成予想図は現在検討中）

美須々教育会館（仮称） の建設にむけて ご理解とご協力を

建設委員長 奥 熹（S38卒）

美須々教育会館（同窓会館を兼ねる）の建設に当たっては過去何回か論議がなされてきました。その中で建設をすることによって、その後の維持費が掛かり、今の美須々ヶ丘高校同窓会の財政から無理ではないかとの声もあり、建設にはいまだ至っていませんでした。

しかし、新設高校は別として多くの高校には教育会館（学習場兼同窓会館）があり、また新たに建て直しや増設をされている学校が少なくありませんでした。私たちはこうした中、他校の教育会館を視察し、またインターネット等で調べる中で建設されている意義や位置づけを学ぶことが出来ました。

①在校生が学ぶ場になっていること
②地域と地域また地域と学校（在校生・同窓生）を結ぶ絆の場になっていること

③同窓生が卒年の枠を超え、共に集い自分たちの研鑽の場になっていること

④学校（在校生）と同窓生を結ぶ絆の場になっていること

⑤母校と同窓生とが一体になれる場であること

つまり地域住民の活動の拠点であり、在校生にとっては学習をする場所となっており、同窓生にとっては心の拠り所となっていることでした。

ふり返って美須々ヶ丘高校の同窓生を見たときに、各種学校が統合さ

れた学校であったことや、また火災等により校舎が一箇所に止まらず転々とした歴史があり、その当時の同窓生の中には心休まないまま卒業をされた方も少なくはありません。その時に同窓生が集える場があったならば同窓生は母校や同窓会に対する思いを強くし、今の同窓会の姿とは大きく違っていたのではないかと思います。

今、世界もわが国も大きく揺らぎ経済はもちろん人間社会の中にあってもお互いを慈しみ助け合う心が薄れ、常に一人ひとりが孤独の中に身を置いていきます。我が美須々ヶ丘高等学校は「自主・自立の精神、そして豊かな情緒・知性の育成」を教育目標に掲げ自主性を重んじ、自由で明るい校風により同窓生はもちろん生徒は責任感や積極性を育んでいます。

しかし、今、国の内外とも多事多難の渦中にあつて、美須々教育会館建設はこれからの時代を担う若い人たちが育成する場として、併せて希薄になっている人間関係を結ぶ大切な場として私たちは建設する方向で方針を位置づけました。

美須々ヶ丘高等学校は来年創立百周年を迎えます。その記念事業として会館の建設はまたないチャンスであると考え、来年10月10日の百周年記念式典までには将来永遠と連なる美須々ヶ丘高等学校の新たな出発として美須々教育会館の竣工が出来るよう建設委員会として考えています。

そのためにも、同窓生各位におかれましては上記の趣旨をご理解いただき、一層のご寄付をよろしくお願い申し上げます。

CD制作委員会より

創立百周年を機に同窓会では、代々の校歌・応援歌等をCD化し、広く卒業生・在校生に活用していただくこと委員会を立ち上げ準備をしています。収録する曲は現在次のような内容を予定しています。当面、百周年記念誌の購入者と在校生及び新年度入学生へ贈呈する計画です。

- 1 松本美須々ヶ丘高等学校校歌（混声合唱）
- 2 松本女子職業学校校歌（混声合唱）
- 3 応援歌 美須々ヶ丘（混声合唱）
- 4 応援歌 新校舎（混声合唱）
- 5 松本美須々ヶ丘高等学校校歌（吹奏楽）
- 6 松本美須々ヶ丘高等学校校歌（カラオケ）
- 7 市立中学・市立高校 校友歌「伸びゆくもの」
- 8 市立女子商業学校校歌「ミスズっ子の歌」
- 9 2003 吹奏楽部全国大会
- 10 2004 吹奏楽部全国大会
- 11 2005 吹奏楽部全国大会
- 12





編集作業を進める執筆者と編集委員会

おおぞら 大宙へ……未来へのメッセージを託して 創立百周年記念誌を刊行

平成二十一年、長野県松本美須々ヶ丘高等学校は創立百周年を迎えます。それにあわせ、創立百周年記念誌を刊行。記念誌委員会では現在、編集作業を進めております。私たち委員会メンバーが目指すのは、単なる100年間の記録ではなく、読んだ卒業生や現役生が「自分たちの学校、美須々つてすごいんだな」と母校を誇りに思えるような「美須々の心」を伝えていく記念誌です。どうぞ、お楽しみに！

卒業生による座談会や 手記も満載

100年という歴史の間に、脈々と受け継がれてきた美須々の心。昨今の、吹奏楽部や放送部などの全国的な活躍ぶりをみていますと、その心がまさにいま結実したのではないかと確信します。さらに次の未来に向かって、美須々の心を伝えていくために、創立百周年記念誌は刊行されます。写真など数多く取り入れ、ビジュアル的にも楽しめ、また卒業生らによる座談会、手記も満載。読みごたえがあり、親しみやすい記念誌となります。

記念誌をご購入された方には校歌・応援歌のCDをプレゼントいたします。

大募集

記念誌委員会では現役、卒業生の皆さんから下記の内容について広く募集しています。

- ①作文『これからの美須々に期待すること』(400字くらい)『校歌に寄せる思い』(同)
- ②「写真でみる、美須々百年史」
 - 当時の写真を貸してください。特に、松本女子職業学校、松本高等家政女学校、松本市立高等女学校、松本市立中学、松本市立女子商業学校、松本市立高等学校の卒業生が持ちの写真を大募集！ぜひお貸しください！
- ③美須々が生んだ著名人、有名人を探しています。自分たちの同窓生に、このように活躍している人がある、という情報を求めています。
- ④女子商業の校歌を覚えておられる方ご一報ください！

(お問い合わせは) 創立百周年記念事業実行委員会
TEL・FAX 0263-33-2560

記念誌の内容

- 第一部 百年の歩み～一目でわかる百年史
- 第二部 百年の歩み～もっと知りたい百年史
(校友会・生徒会活動/校友会誌/双蝶祭/クラブ活動/同窓会の活動/PTA活動)
- 第三部 三つの校歌
- 第四部 百周年記念事業
「百年の足跡、無限の未来へ」
- 第五部 これからの美須々
～おおぞら……双蝶～
- 第六部 資料編(略年表、思い出のスナップ)

松本美須々ヶ丘高等学校創立百周年記念誌

- 判型 A4判変型
- 頁数 (扉、口絵8頁、本編750頁)
- 色数 カラー、モノクロ
- 装丁 上製本、布クロス、ケース付き
- 発行部数 1,500部
- 価格 5,000円
- 発行日 平成22年1月予定
(記念式典の翌年)

H22年
1月

クラブ活動近況報告

昨年全国高校サッカー選手権長野大会に、母校サッカー部は6年ぶり3度目の決勝進出を果たしました。惜しくも松商学園に敗れ準優勝、悲願の全国大会出場はまたもありませんでした。しかしその戦いぶりは『私学優勢の傾向が強い中、公立校の最後まで粘り強いプレーは、まさに高校運動部活動

の二本であった』と信毎「建設標」に賞されるものでした。

その他、弓道部・サッカー部から国体選抜選手として国体出場、なぎなた部で全国選抜大会出場、放送部朗読部門でNHK杯全国放送コンテスト入選、新聞委員会は全国高校総合文化祭文化連盟賞受賞と活躍しました。

松本美須々ヶ丘高校放送部



第55回 NHK杯全国高校放送コンテスト 決勝大会
平成20年7月25日(金)

現在放送部は女子六名で活動しています。以前に比べると部員数が少なく大変ですが、主に次のような内容のを行っています。
①校内放送(朝の放送、お昼の放送、そして放課後等の呼び出し放送)
②行事における音出しとビデオ記録(入学式から卒業式まで全ての行事に関わっています)
③コンテストへの参加(本年度はNHK杯全国高校放送コンテストへテレビ

ドキュメント部門とラジオドキュメント部門で推薦されました)④地域との交流(北部公民館などと数年前から交流が続いており今年も九月七日に開催される第六回街かどコンサートのお手伝いをします)

このように多岐にわたって活動をしていますが放送部で一番大事にしていることは、伝えたい情報を相手に正確に伝えるということです。校内における呼び出し放送やお昼の放送、コンテストのビデオ作品やラジオ作品、行事における音響機器等の運営全て、聞く人、見る人に正確に情報が伝わらなければ意味がありません。伝える内容・情報を正確に把握し、如何にしたらうまく相手に伝わるのか?を考えています。時には失敗することもあります。時には「伝える」ということの大切さを大事にしていきたいと思っています。

2008年度 クラブ活動 長野県高校総合体育大会成績

(県大会以上)

運動部

サッカー

1回戦	美須々	3-0	伊那北
2回戦	美須々	2-4	上田 ベスト 16

男子バスケットボール

1回戦	美須々	80-95	飯田風越
-----	-----	-------	------

女子バスケットボール

1回戦	美須々	53-65	上伊那農業
-----	-----	-------	-------

男子ハンドボール

2回戦	美須々	28-19	上田西
3回戦	美須々	11-36	屋代

女子ハンドボール

2回戦	美須々	28-11	長野南
3回戦	美須々	19-28	野沢北
順位決定戦	美須々	18-15	上田 3位
北信越大会	美須々	14-34	高岡向陵(富山)

男子ソフトテニス

個人1回戦	美須々	0-4	須坂商業
-------	-----	-----	------

女子ソフトテニス

個人1回戦	美須々	4-0	須坂商業
個人2回戦	美須々	4-1	阿智
個人3回戦	美須々	1-4	長野吉田
団体1回戦	美須々	0-3	東海大三

陸上

男子 800 m	3位	北信越大会	準決勝
男子 1500 m	3位	北信越大会	予選
男子 円盤投	8位		
女子 200 m	5位	北信越大会	準決勝
女子 400 m	5位	北信越大会	予選

卓球

学校対抗

男子1回戦	美須々	0-3	上田西
女子1回戦	美須々	2-3	野沢南

弓道

男子団体	2回戦進出		
女子団体	決勝トーナメント進出	4位	

剣道

団体戦	予選リーグ敗退		
個人戦	1回戦敗退		

なぎなた

演技競技	3位		
北信越大会	1回戦敗退		

水泳

男子 100 m 背泳	1位	北信越大会	9位
男子 200 m 背泳	1位	北信越大会	7位
男子 100 m バタフライ			
男子 200 m 個人メドレー			

男子ビーチバレー

全日本ビーチバレー選手権出場

文化部

放送部

NHK全国高校放送コンテスト		
ラジオドキュメント	優良賞	
「みずすの志(こころ)」		全国大会へ
テレビドキュメント	優秀賞	
「みずすのおみず」		全国大会へ

全国高校総合文化祭群馬大会参加

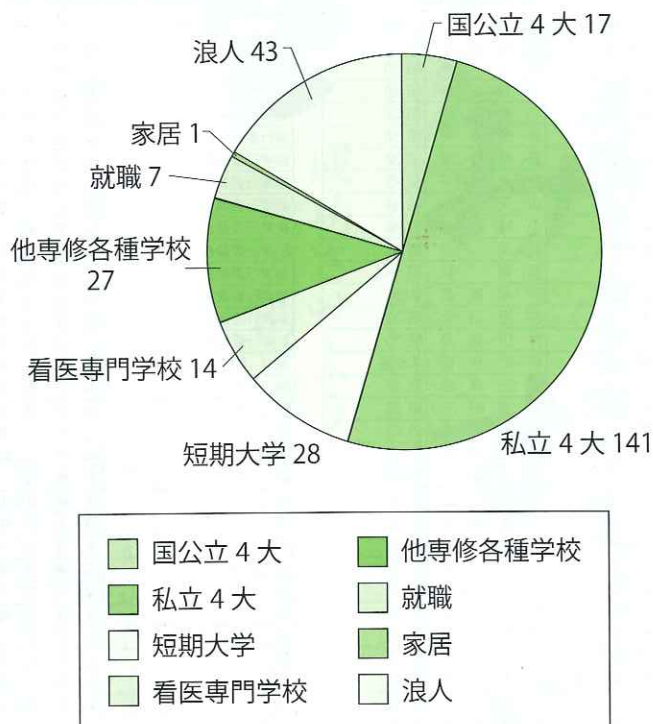
新聞部	
音楽部	
総合開会式司会	

2007 (平成19) 年度 主な進学合格状況

(延べ人数: 略称あり)

【国公立大学】				大学名	学部名	現	浪
大学名	学部名	現	浪	国立音大	音楽	2	
信州大	人文	1	1	駒澤大	文	3	1
	教育	1			法		2
	経済	2	1		経営		1
	医・看護	1		実践女子大	生活科学	1	
	工	1			文	1	
	農	2		芝浦工大	工		1
長野県看護大	看護	2		順天堂大	医療看護	1	
群馬県立女大	文		1	成蹊大	法		1
高崎経済大	地域政策	1			ネット情報	1	
	経済		1		経済	1	1
前橋工科大	工	1		専修大	商	1	
埼玉県立大	保健医療	1			文	1	1
山梨大	教育人間科学	1			法	1	1
	工	1			外国語	1	
新潟大	経済		1	大東文化大	経営	2	
富山大	芸術文化	1			国際関係	1	
石川県立大	生物資源	1			文	1	
奈良女子大	文		1	拓殖大	工	1	1
島根大	生物資源	1		玉川大	農	1	1
【私立大学】					文		1
大学名	学部名	現	浪	中央大	経済		2
佐久大	看護	1	1		商		1
諏訪東京理大	システム工	3		中部大	現代教育	1	
	経営情報	2			人文	1	
松本大	人間健康	8			経営	2	
	総合経営	8	1		経済	2	
青山学院大	経済		1	中京大	現代社会	1	
	経営	1			情報理工	1	
亜細亜大	法	1			体育	1	
	ビジネスマネ	2		帝京大	医療技術	2	
桜美林大	健康福祉	1	1		外国語	1	
大妻女子大	家政	1			政治経済	2	
神奈川大	外国語		2	東海大	法	1	
	経済	1			海洋	2	
	経営	1			工	1	
	工	5			情報理工	1	
	法	2		東京家政大	家政	1	
	理	1		東京経済大	経済	1	3
関東学院大	経済	5			現代法	1	
	法	1		東京電機大	工	1	1
	人間環境		2		理工	2	
北里大	海洋生命	1		東京農業大	生物産業	5	
京都外語大	外国語	3			地域環境	2	
京都造形芸術大	環境デザイン	1		東京理科大	経営	1	
	芸術	1		東洋大	文	2	2
杏林大	総合政策	1			法	2	2
近畿大	経営	1			工	1	
	法	1		獨協大	経済	1	
慶應大	商		1		法	2	
國學院大	文	1			外国語	1	
	法		2	名古屋外語大	外国語	1	
国士舘大	文	1			現代国際	2	
	経済	2	1	南山大	人文		1
	体育	1		日本女子大	文	1	
	法	1		日本大	文理	2	
	理工	1					

2007年度 卒業生進路状況 (278名)



大学名	学部名	現	浪	大学名	学部名	現	浪
日本大	法	1	1	立命館大	文		2
	商		3	早稲田大	政経		1
	工	1		【公立短期大学】			
	生産工	1		大学名	学科名	現	浪
	生物資源	1	1	長野県短大	日本語日本文化	1	
日本福祉大	理工	3			英語英米文化	2	
	健康科学	2		【私立短期大学】			
文教大	子ども発達	1		大学名	学科名	現	浪
	教育	1		飯田女子短大	幼児保育	1	
法政大	キャリア	1			看護	1	
	経営	1		清泉女学院短大	幼児保育	1	
武蔵大	経済	1			経営情報	3	
	社会	1		松商短大	商	1	
武蔵野音大	音楽	1			看護	2	
明治大	政治経済	1		松本短大	幼児保育	7	
	農	1		大妻女子大短大部	英文	1	
明治学院大	経済	1		國學院栃木短大	国文	1	
	法	1		【看護医療系専門学校】			
名城大	経営	3		大学名	学科名	現	浪
	法	1		諏訪赤十字看護	看護	1	
立正大	経営	1		諏訪中央病院看護	看護	3	
	経済	1			理学療法		1
立命館大	社会福祉	2		長野医療技術	作業療法	1	
	経営	1		長野赤十字看護	看護	1	
	経済	1		松本市医師会看護	看護	2	
				松本歯科大衛生	歯科衛生	1	

母校今も 花の樹齢と 重なり
小林 亘



みずぶの桜

母校には松本の桜の名所のひとつに挙がるほど見事な染井吉野などが校舎を囲んでいます。満開の4月14日、昭和29年卒業の同期生13名が母校を訪れました。前日各地から浅間温泉に集い、翌朝来校しました。その様子が地元紙市民タイムス「サクラ物語」に掲載されました。

代表の小林亘さんによると、新しい木造校舎の完成を祝って昭和27年にクラスごとに苗木を植えたようです。57年前に植えた母校の桜を仰ぎながら、再会した仲間との話しに花を咲かせ、何度も振り返りながら母校を後にしました。

平成20年度(2008年)役員名簿

同窓会役員名簿

役職	氏名	役職・卒年
会長	福島 昭子	昭26
副会長(会長代行)	奥 薫	昭38
副会長	大林 好矩	昭28
副会長	小島 由本	昭28
副会長	有馬 恭子	昭38
副会長	荻原 幹雄	昭38
副会長	百瀬 富貴子	昭45
副会長	山元 秀泰	昭47
副会長	小林 磨史	昭48
副会長	矢久保 学	昭52
副会長	須澤 穂	昭54
副会長	小林 義昌	教頭
顧問	銭坂 明尚	昭22
顧問	井口 善高	昭30
顧問	橋詰 治明	学校長
参与	黒田 輝彦	昭48
監事	鳥羽 紀子	昭38
監事	小野 伸二	昭61
会計	小松 伸好	昭52
会計	丸山 豊一	事務長
常任理事	山田 悦生	昭42
常任理事	西尾 集雄	昭42
常任理事	北野 亨	昭52
理事	上條 好衣	昭2
理事	原 みよ子	昭22
理事	新田 克典	昭34
理事	浅原 忠子	昭38
理事	太田 公孝	昭38
理事	三澤 博	昭39
理事	三輪 尚弘	昭41
理事	伊藤 篤貴	昭43
理事	上條 信太郎	昭44
理事	川崎 亨	昭45
理事	中村 俊春	昭46
理事	松本 武子	昭47
理事	味澤 恵美	昭49
理事	山崎 いずみ	昭51
理事	鏡 味照	昭53
理事	高橋 隆夫	昭54
理事	木下 尚子	昭55
理事	中村 努	昭56
理事	鳥羽 洋一	昭57

事務局

常任理事	工藤 哲夫	昭52
常任理事	高橋 一郎	昭58
常任理事	稲場 隆	昭59
事務局	祖父江 信一	昭59
事務局	齋藤 善治	昭61
事務局	齋藤 俊樹	平2
事務局	白水 貴仁	平7
事務局	今井 京	平10
事務局	鳥羽 美根子	昭37
事務局	住田 慶子	昭37
事務局	滝沢 愛子	学校

同窓会・百周年実行委員会事務局

TEL・FAX 0263-33-2560
E-mail: misuzu100@po.mcci.or.jp
URL: http://www.mcci.or.jp/www/misuzu100/

創立百周年記念事業実行委員会役員名簿

役職	氏名	役職・卒年
組織代表	福島 昭子	同窓会長 S26
組織代表	三村 光正	PTA 会長 S55
組織代表	橋詰 治明	学校長
実行委員長	山元 秀泰	同窓会副会長 S47
実行委員長代行	小林 磨史	同窓会副会長 S48
副実行委員長	小島 由本	同窓会副会長 S28
副実行委員長	大林 好矩	同窓会副会長 S28
副実行委員長	奥 薫	同窓会副会長 S38
副実行委員長	有馬 恭子	同窓会副会長 S38
副実行委員長	須澤 穂	同窓会副会長 S54
副実行委員長	松山 浩明	PTA 副会長 S54
副実行委員長	足立 一雄	PTA 副会長 S51
副実行委員長	齋藤 一彦	PTA 副会長
副実行委員長	小林 義昌	教頭
顧問	銭坂 明尚	同窓会元会長 S22
顧問	井口 善高	同窓会元会長 S30
顧問	黒田 輝彦	松本市議 S48
顧問	瓜生 喬	S26
顧問	中村 剛	中原地区連合会長
参与	尾関 寿美男	元 PTA 会長
参与	樋上 照男	元 PTA 副会長
参与	南井 完次	元 PTA 会長
参与	三浦 浩美	元 PTA 副会長
参与	瀬川 久幸	元 PTA 会長 S55
参与	齋藤 光春	元 PTA 副会長
参与	大友 孝志	前 PTA 会長 S53
参与	上條 秋男	前 PTA 副会長
参与	深澤 盈	前中原地区連合会長
会計	鳥羽 美根子	S37
会計	小松 伸好	S52
会計	丸山 豊一	事務長
監事	小野 伸二	S61
監事	藤岡 恵子	PTA
監事	西沢 義明	学校
事務局次長	荻原 幹雄	同窓会副会長 S38
事務局次長	矢久保 学	同窓会副会長 S52
事務局次長	工藤 哲夫	学校 S52
総務委員会委員長	伊藤 篤貴	S43
総務委員会副委員長	勝野 金文	S44
総務委員会副委員長	百瀬 衛貴男	S45
総務委員会副委員長	吉田 誠	S48
総務委員会副委員長	高橋 隆夫	S54
総務委員会事務局	鳥羽 紀子	S38
記念誌委員会委員長	山本 範行	S46
記念誌委員会副委員長	河野 孝子	S39
記念誌委員会副委員長	清水 千恵	S49
記念誌委員会副委員長	堤 典義	S52
記念誌委員会副委員長	奥 和枝	S54
記念誌委員会事務局	松本 武子	S47
学校整備委員会委員長	橋本 恵次	S40
学校整備委員会副委員長	関谷 隆春	S45
学校整備委員会副委員長	松田 光陽	S49
学校整備委員会事務局	田辺 勝之	S52
記念催事委員会委員長	加科 勝	S32
記念催事委員会副委員長	百瀬 富貴子	同窓会副会長 S45
記念催事委員会副委員長	鳥羽 弘純	S45
記念催事委員会副委員長	中村 俊春	S46
記念催事委員会事務局	上田 美幸	S52
財務委員会委員長	上條 信太郎	S44
財務委員会副委員長	原 元子	S51
財務委員会事務局	稲葉 隆	S59
ビジョン委員会委員長	伊藤 亮二	S52
ビジョン委員会副委員長	中村 希和子	S53
ビジョン委員会副委員長	大友 孝志	S53
ビジョン委員会副委員長	柄澤 深	H4

同窓会事務所が完成

今まで同窓会の事務所は同窓職員の学校研究室をお借りし、週末や夜間の会議は母校会議室等を使用していました。創立百周年の事務処理等繁忙となってきたため、母校管理棟北側にプレハブ倉庫を建て寄贈し、同窓会事務所として使用しています。(四月十一日竣工)

38)の他、鳥羽美根子(S37)さん住田慶子(S37)さんが事務員として週一日ほど勤めていただき、平日は同窓職員が詰める形をとっています。点検していた資料を集め整理を始めました。委員会や役員の打合せ等に約十名の会議が出来るスペースがあります。事前に事務局へ一報入れて頂き大いにご利用下さい。



計報

本会前会長 橋本五十八様が4月11日ご逝去されました。故橋本前会長は永く副会長・会長職を歴任され、本会発展のためにご尽力いただきました。心よりご冥福をお祈りいたします。尚、ご遺族より創立百周年募金にご遺志として多額のご寄付を賜りました。厚く御礼申し上げます。

後記

☆13ページに掲載の「創立百周年記念ロゴマーク」は、デザイナーの加藤千加(旧姓・堀田)さん(平成4年卒)制作のもので、平成19年卒業の小林可那さんが、在学中に作成したアイディアをもとにコラボレートしました。

左手は先輩、右手は後輩。つながる糸は美須々の伝統と歴史。指と紐で100をなぞっています。指に止まりそうな蝶の羽の模様は美須々の「美」です。

☆5月に塩尻短歌館へ書道部員と行ってきました。若山牧水の妻である歌人若山喜志子の妹「潮みどり」の取材です。本名太田桐は広丘吉田の生まれで、大正4年に松本女子職業学校を卒業後短歌の道に入り、「創作」誌上で人気を集め、多感、清純、静かに己を見つめた歌人と評されています。

「いく重やまみやまの奥の山さくら松にまじりて咲きいでにけり」の自筆の一首が歌碑に刻まれおり、拓本を採って、双蝶祭に展示しました。

昭和2年三十歳の若さで結核を患い惜しまれて他界しました。しかしその「こころ」は歌と書という「かたち」で今も生き続けています。

(事務局K)

(平成20年 8 月25日現在)

[illegible]

[illegible]